

ご案内

～さきがけ「光の創成・操作と展開」研究領域 さきがけフォーラム～
～2009年春季 第56回応用物理学関係連合講演会 シンポジウム～

特別企画「光科学の未来を拓く」

— Frontier and New Prospects in Optical Science —

日時：平成21年3月31日（火） 10:00～17:00

4月1日（水） 10:00～17:00

会場：筑波大学 大学会館 3F 国際会議室

拝啓

時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

平素はさきがけ研究に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

光は人類をはじめとしたあらゆる生き物の存在に不可欠根源的なものであるとともに、電磁波として、あるいは光子として、これまでもそしてこれからも現代科学技術の根幹として発展することは疑う余地もありません。文部科学省が2005年度の戦略的創造研究推進事業として「光の究極的及び局所的制御とその応用」を掲げ、JST さきがけ研究「光の創成・操作と展開」が同年発足し、今回、第1期生10名が研究を終了します。

この機会に、「光科学の未来を拓く -Frontier and New Prospects in Optical Science-」シンポジウムを開催いたします。本シンポジウムには、2005年ノーベル物理学賞受賞者のJohn L. Hall博士（；コロラド大JILA、米国標準技術研究所）、アト秒科学の父と言われるPaul B. Corkum博士（Univ. Ottawa, NRC ; National Research Council Canada）、光マニピュレーションの第一人者Kishan Dholakia博士（Univ. St. Andrews）、超高速光物性のJure Demsar博士（Univ. Konstanz）にも加わっていただき、光科学の本質に基づき、将来もたらされると期待される新パラダイムを見据えた討論を期待します。また第2期生、第3期生のポスター講演も合わせて行います。

つきましては、この機会に、さきがけ研究者の未来を背負う意気込みと、世界的な視野での提言とのcall+responseに、一人でも多くの方にご参加賜りますようお願い申し上げます。

敬具

2009年2月吉日

さきがけ「光の創成・操作と展開」研究領域
研究総括

伊藤 弘昌